学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解
科目コード：130009

解剖生理学実習 Practicum: Human Anatomy and Physiology

担当教員	市丸 徹、長谷川 昇				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	1	授業形態	実習
必修・選択	必修	時間数	45		
Keywords	解剖学、生理学、生化学				
学習目的・目標	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養の講義・演習から得た知識をより深く理解するための実習・演習を行います。まとめの回では、実験結果や考察を学生どうしでまとめて発表し、討論します。 【目的】 自分の身体や生体材料などを用いた演習・実験を通して、生命現象に対する理解を深める。 【目標】 1. 全員が実習に参加し、自分の知識を再確認する。 2. 解剖・生理学の基礎的な実験手技を習得する。 3. 実験結果のまとめ方とプレゼンテーションの仕方を学ぶ。				

授業計画・内容

回	内容
1-2	オリエンテーション・説明（1）
3-4	血圧・感覚実習
5-6	心電図・肺機能実習
	発表資料作成
7-8	まとめ・発表（1）
9-10	説明（2）
11-12	血液・浸透圧実験
13-14	酸塩基平衡実験
	発表資料作成
15-16	まとめ・発表（2）
17-18	説明（3）
19-20	体表解剖学演習
21-22	ラット解剖実習
	発表資料作成
23	まとめ・発表（3）
	※ 予定は都合により変更となる可能性があります。 ※ 各まとめ回の前に、発表資料作成の週を設けます。

教科書	実習の手引きを各説明回で配布する予定です。この手引きに従って講義をすすめます。
参考図書等	三角定規、分度器、色鉛筆（12色程度）、白衣を用意して下さい。白衣の使用は11月以降、3回です。 10月に白衣の共同購入の機会がありますが、高校等で使用していたものでも構いません。
評価指標	成績評価対象者：出席2/3以上。レポート提出者。 出席・受講態度・レポート60%、試験40％で評価します。 レポートは必ず提出して下さい。未提出でも督促はしません。また実習への参加を重視しています。基本的には全出席してください。実習欠席者には補習、追加レポート、面談等を課しますので、自ら教員まで申し出てください。連絡がない者、およびレポート未提出者は単位が認定されない場合があります。
関連科目	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、疾病障害論、人間病態学、他多数
教員から学生へのメッセージ	実習・演習においては、自分自身の手を動かし、自分で考え工夫することにより真の知識が身につきます。参加して実行することが重要です。必ず事前に実習の手引き等で予習しておいて下さい。 実験では、常に教科書どおりの結果になるとは限りません。そのような結果にも何か理由があるはずです。学んだ知識を総動員して応用し、自分なりの考えをレポートにまとめて下さい。この講義を通して、主体的に考え、学んでいく姿勢を養ってくれることを期待しています。